

# 回覧

## たかくまだより

R7.7.20 第14号 高塚熊野神社



ヤタカラ君

FMHaro  
「たかくまだより」  
第4木曜 17:35~  
第12回放送



### 「たかくまだより」回覧版へ

令和7年度より「たかくまだより」の高塚町内への配布方法が、「回覧」に変わりました。個別にご入用の方は、神社の授与所にご用意しております。お声をかけてください。また、神社のホームページやSNSでも入手できます。左のQRコードをご利用ください。

## 心のより所は壊れてはいけません。重さ20トンの瓦屋根を何とかしなくては。



最大震度7を観測した能登半島地震では、多くの社寺が被害を受け、発生からおよそ1年半経った今でも復旧は進んでいません。そんな能登のある神社からの近況報告によると、倒壊したままの神社を前に、地域の人々が参拝されているとのこと。被災された方々にとって心のより所と言え、やはり神社。神社が壊れるということは、とても悲しいことなのです。

一方 私たちが住んでいる地域も、南海トラフ大地震の危険性が高まっています。そこで高塚熊野神社を見直してみますと、一番奥の黒い社殿は改築後85年の木造で、耐震建築ではありません。正面の大屋根の社殿は改築後59年。RC製の堅牢な造りですが、大屋根の重量が20トン(瓦・土など)もあるそうで、大地震に弱い構造です。神社では、この瓦屋根を軽い金属製の屋根に改修することを急務と考え、検討が進んでいます。詳細は引き続き、本紙誌面に掲載していきます。(次号に続く)



高塚南・北子ども会共催

### 神様教えて

今回は、植田紗帆さん(当時小学4年生)からの質問です。



### Q 何でスタンプ(御朱印)を押しているの?

神社で御朱印を押して(授与して)いる理由は、御朱印が参拝の証だからです。

一般的な御朱印は、あなたの御朱印帳の1ページに、墨書きで神社名や参拝日、お祭りしている神様のお名前などが書かれ、朱色の印章が押されます。

御朱印は神様の分身であり、神様とのご縁を結んだ記念として、神社を訪れた際にいただくものです。

近年、インターネット上のフリーマーケットで有名神社の御朱印が出品されているのを見かけますが、御朱印の意義や目的にそぐわない行為であり、とても残念です。



### トピックス 神社でも田植えをしています



戸塚宮司と巫女の大城さん

6月に入り、神社では五穀豊穡を祈願して田植えが行われました。採れた稲は、11月の「秋季大祭・新嘗祭」で神殿に供えられます。



7月中旬現在、このように成長しています。

### ニュース 高塚熊野神社がJR東海のスタンプスポットに

JR東海は現在『夏詣2025スタンプラリー』と題して8月末まで、東海道新幹線駅周辺の指定神社を巡るというイベントを実施しています。浜松駅周辺のラリースポットは、五社神社と高塚熊野神社の2か所。夏詣という言葉が定着してきました。

スタンプラリーの詳細はこちらから →



ここがスタンプポイント



### 子ども会の皆さんが境内草刈り



6/14 北子ども会さん

6/21 南子ども会さん

6月、高塚南・北子ども会さんが北参道の草刈りをしてくれました。とても綺麗になりました。

### 舞姫さん募集 10月の例大祭(11・12日)で、お神楽を奉納しませんか

1. 条件: 高塚町在住もしくは町内出身のお子様(女の子)で、小中学生(高校生も可)。定員 6~8名。
  2. 練習=9月から。回数未定。
- 社務所までお申し込みください。☎ 053-448-2288

# たかつか熊野夏祭り 6月29日~7月7日 スナップ写真

## 茅の輪の製作



葦の葉先を揃えて一握りの太さの束をたくさん作り、同じ長さにカットします。



葦の束を芯材に縛って茅の輪を作ります。特殊な縛り方です。



茅の輪の材料を刈り取りに行きます。軽トラに山積み量の葦を刈ります。



茅の輪を台座に据え付けます。しめ縄・紙垂・笹竹を取り付けて完成です



竹灯りを作るために、太めの孟宗竹を伐り出します。重労働です。



竹に穴を開けていきます。



どんな感じが、ちょっと点灯。



竹灯りを設置し、笹に短冊類を飾っていきます。

## 夏越大祓、茅の輪神事



禰宜さん（戸塚宗柏氏）をはじめとする神職さん巫女さんによる「大祓詞」の奏上。



戸塚昌宏宮司による布裂神事。麻に見立てた布を八回切り裂き、唐櫃に納めます。



神職さんらを先頭に、茅の輪くぐりが始まりました。



当日の参加者は約350名ほどですが、前日の日曜日からは、茅の輪をくぐる参詣客の姿が絶えませんでした。



行列はそのまま社殿の中へ。最後の神事です。



参加者は神札と茅をいただけます。

## 七夕祈願祭

夏祭り期間中の一週間で、約五百五十枚の短冊が飾られました。



七夕祈願祭では、戸塚昌宏宮司が祝詞を奏上し、巫女が神楽舞を奉納、参詣客が家内安全や祈願成就を願いました。



最後に、琉球太鼓の奏楽奉納が行われました。